

**平成 26 年度
福岡市総合図書館の運営に関する評価**

**平成 27 年 8 月
福岡市総合図書館**

福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議委員名簿

(五十音順)

	所属等
梶田 由美子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (社会教育関係)
坂田 美和子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (家庭教育関係)
島津 摩季子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (本市住民)
高橋 昇 (委員長)	福岡市総合図書館運営審議会委員 (学識経験者)
八尋 和郎	公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部長兼 BIZCOLI 館長

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価（総括）

1. 福岡市総合図書館新ビジョン基本理念
市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館
利用者の高度化・多様化するニーズに対応できる資料・情報を提供する生涯学習施設として、また、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人なども集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指します。

2. 成果指標								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">成果指標</th> <th style="width: 30%;">当初</th> <th style="width: 30%;">平成26年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">図書館利用者における 図書館サービスの満足度 【平成30年度:85%】</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">75.5%</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">80.1% (+4.6)</td> </tr> </tbody> </table>	成果指標	当初	平成26年度末	図書館利用者における 図書館サービスの満足度 【平成30年度:85%】	75.5%	80.1% (+4.6)		
成果指標	当初	平成26年度末						
図書館利用者における 図書館サービスの満足度 【平成30年度:85%】	75.5%	80.1% (+4.6)						
※()は前年度からの増減								

3. 目標数値																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">成果指標</th> <th style="width: 30%;">平成25年度末</th> <th style="width: 30%;">平成26年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">①入館者数 【平成30年度:5,500千人】</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">4,223,589人</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">4,059,949人 (-163,640)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">②個人貸出冊数 【平成30年度:5,200千冊】</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">4,633,083冊</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">4,378,475冊 (-254,608)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">③貸出利用者数 【平成30年度:1,400千人】</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1,290,720人</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">1,227,351人 (-63,369)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">④新規登録者数 【平成30年度: 45千人】</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">29,915人</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">25,971人 (-3,944)</td> </tr> </tbody> </table>	成果指標	平成25年度末	平成26年度末	①入館者数 【平成30年度:5,500千人】	4,223,589人	4,059,949人 (-163,640)	②個人貸出冊数 【平成30年度:5,200千冊】	4,633,083冊	4,378,475冊 (-254,608)	③貸出利用者数 【平成30年度:1,400千人】	1,290,720人	1,227,351人 (-63,369)	④新規登録者数 【平成30年度: 45千人】	29,915人	25,971人 (-3,944)		
成果指標	平成25年度末	平成26年度末															
①入館者数 【平成30年度:5,500千人】	4,223,589人	4,059,949人 (-163,640)															
②個人貸出冊数 【平成30年度:5,200千冊】	4,633,083冊	4,378,475冊 (-254,608)															
③貸出利用者数 【平成30年度:1,400千人】	1,290,720人	1,227,351人 (-63,369)															
④新規登録者数 【平成30年度: 45千人】	29,915人	25,971人 (-3,944)															
※()は前年度からの増減																	

4. 内部評価	事業別評価	
<p>＜評価＞</p> <p>1 成果指標である「図書館利用者における図書館サービスの満足度」は、年度当初に比べ、4.6%増加しているものの、目標数値については、全項目マイナスとなっており、図書館利用者等の増加へは至っていない状況である。</p> <p>2 事業別評価では、30事業のうち20事業(66.6%)は、ほぼ計画どおりに進捗しているものの、4事業(13.3%)については、不十分な点が見られる。</p> <p>また、6事業については、平成27年度より着手するため、平成26年度においては、評価の対象外としている。</p> <p>＜対応＞</p> <p>今後は、現在提供している図書館サービスを維持しつつ、図書館利用者等の増加につながる事業への取組強化を進めていく。</p>	A評価	10事業
	B評価	10事業
	C評価	4事業
	D評価	-

5. 外部評価

- ・ 満足度は上昇しており、確実に成果が出ている。新規登録者数の伸び悩みが全体の利用者数の減少に繋がっている可能性もある。今後、図書館広報のやり方や魅力をどう伝えていくかが重要と考える。
- ・ 限られた予算の中で、様々な取組みを充実させていくための検討と実施は本当に大変なことだと感じるが、時代に応じて、変えていかなければならない部分と、変えてはならない部分をよく精査しながら、長期的な視野を持って、計画を丁寧に検討し続けていただきたい。
- ・ 日頃より、更なる図書館サービスの充実のために日々課題を掘り起し、改善に向け検討を重ねていることを感じるが、福岡市民の人口は増えている一方で図書館利用者は減少している実態があり、入館者数、個人貸出冊数など全ての項目において減少している。これは市民が読みたい本がないということで、蔵書冊数ではなく質の問題という大きな要因があると思われる。予算が削減されている中、今一度、福岡市、そして教育委員会内で検討されなければならないと感じる。
- ・ 図書館サービス満足度は増加しているものの、利用者数は減少している。新ビジョン事業計画の達成は不可欠であるが、再度基本理念を踏まえ、エンドは「人」という当然のことを念頭に置き、さらなる事業計画への取組みに期待する。
- ・ 新ビジョン事業計画における平成26年度の取組状況は概ね良好であると考えているが、一部の内部評価については厳しさに欠ける点も見受けられる。しかし、管理体制や職員の普段の活動に関しては、与えられた条件の中で利用者に対するサービスを高いレベルで維持していると判断する。与えられた条件の中で資料購入費の問題が、利用者数や入館者数等の減少を招いていることは疑う余地はない。平成15年度は2億2千万円あった購入費が、平成26年度には9千万円弱となっている。このことを総括として指摘しておく。

事業別評価

委員①		委員②		委員③		委員④		委員⑤	
A評価	11事業	A評価	9事業	A評価	7事業	A評価	6事業	A評価	5事業
B評価	9事業	B評価	9事業	B評価	8事業	B評価	10事業	B評価	15事業
C評価	4事業	C評価	6事業	C評価	9事業	C評価	8事業	C評価	4事業
D評価	-	D評価	-	D評価	-	D評価	-	D評価	-

<評価の基準>

福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況について、平成26年度は30事業のうち24事業を評価の対象とし、下記の基準により評価を行っている。

判定	評価内容
A	計画どおり取り組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取り組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取り組んでおらず、不十分である。
D	取り組んでいない。

○福岡市総合図書館新ビジョン事業計画一覧表

図 書 館 像	項 目	内 容	備 考
誰もが楽しめる魅力ある図書館	図書資料の貸出・返却拠点の新設	分館の新設	
	利用時間の拡大	貸出・返却拠点等の新設 開館時間、休館日の見直し	
	図書館イベントの充実	図書館イベントの充実	※平成26年度は評価対象外
	快適な空間づくり	やすらぎと交流の場づくり 館内レイアウトの変更	※平成26年度は評価対象外 ※平成26年度は評価対象外
		資料収集の充実	
		レファレンス(相談)サービスの充実	
さまざまな情報を求める市民に応える図書館	図書館サービスの充実	情報提供の充実 ホームページの複写サービス 無線LAN環境の整備	
	地域読書活動への支援	団体貸出先の拡大	
	市関連施設の図書室の相互協力	公民館等の読書活動への支援 議会図書室との連携 市施設の図書室との相互協力	※平成26年度は評価対象外 ※平成26年度は評価対象外
		モデル児童図書目録の配布	
	子どもへの読書普及	新一年生への貸出カードの付与 ヤングアダルト層(12歳～18歳)への広報活動の強化	※平成26年度は評価対象外
	学校図書館への支援	読書活動ボランティア講座の強化 学校図書館支援センターの設置	
	映像資料部門の強化	図書館外施設でのアジア映画上映事業 広報活動の強化	
	総合図書館の特色を生かした図書館	歴史的公文書のデジタルデータ化及びシステム化 古文書資料・郷土資料のデジタルデータ化 福岡市文学館の利用拡大	
		運営方法(民間活力の導入)の検討 図書館ボランティアとの共働の推進	
	効率的で効果的な図書館運営	職員の育成及び技術向上 施設の有効活用などによる財源確保 情報発信の推進	

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	分館の新設				
平成 26 年 度					
事業計画	地域交流センター等の整備検討に併せて、新たな分館の新設を検討します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討, 協議				
取組状況	<p>第9次福岡市基本計画に基づき、地域交流センター(早良区中南部)の整備に向けた候補地の調査・検討が市民局で進められてきた。</p> <p>平成26年7月に整備地の早期選定に向けて、「早良区地域交流センター整備検討会」が設置されたことから、総合図書館運営課長が委員として参加し、同センター整備について検討を進めてきた。</p>				
平成 27 年 度					
事業計画	<p>市民局において、整備に向けた基本構想の策定、事業手法等の検討を予定していることから、総合図書館においても次の項目について取り組んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流センター内に図書館機能(分館)を設置することについての教育委員会としての方針及び市民局への申し入れ ・分館の運営方針やコンセプト等の検討・策定 等 				
内 部 評 価					
<p>地域交流センター等の整備検討において、分館新設の設置については検討課題の一つとしてしており、市全体でスケジュールを進めていることから、地域交流センター等の整備に関する全体スケジュールとしては、ほぼ計画どおりの進捗状況であると考え、教育委員会内における分館を設置することについての方針や分館の運営方針等の検討までには至らなかった。</p>					B
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・早良区中南部における図書館機能の設置は重要な課題のひとつ。分館設置の方針及び運営方針の検討は早急に、かつ積極的に進めていただきたい。 ・早良区地域交流センターの整備検討会の委員として参加しているが、並行して教育委員会内における分館設置の方針、運営方針の検討を行うことが必要である。 ・教育委員会内部の検討が早急に必要である。 ・地域交流センターの整備計画には、基本構想の段階から参加する必要がある。図書館サービスの行き届かない地域であることから、重点的に取り組んでいただきたい。 ・分館の検討はされているものの、実現性が高まっているのか判断できない。もう少し集中的に検討すべきである。 					A : 0 B : 2 C : 3 D : 0

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	貸出・返却拠点等の新設				
平成26年度					
事業計画	図書館サービスが行き届かない地域に対して、交通の便の良い公共施設などに図書の貸出・返却拠点の新設を推進し、図書館利用者の利便性の向上を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討、協議				
	◇設置		◇設置		
取組状況	返却拠点の新設について、平成26年度下半期より、福岡市民福祉プラザ(以下「ふくふくプラザ」という。)と協議し、平成27年度当初より、ふくふくプラザ2階の福祉図書・情報室を返却拠点とする旨で合意した。				
平成27年度					
事業計画	平成27年4月1日より、ふくふくプラザ2階の福祉図書・情報室カウンター窓口にて返却受付を開始し、併せて、上半期中に、ふくふくプラザ1階入口付近に返却ポストを設置する予定である。 その他の拠点については、南区南部エリアの中で候補施設を調査し、その結果に応じて拠点設置の協議や手続きを進める。 ※平成27年4月1日より、ふくふくプラザ2階の福祉図書・情報室カウンター窓口にて返却受付開始した。また、同年8月1日より、ふくふくプラザ1階入口付近に返却ポストを設置する予定である。				
内部評価					
平成27年度から返却拠点1箇所を増設することの合意に至ったため、計画どおりに進捗している。					A
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・1年度に1カ所ずつ貸出と返却拠点が増えていけば、目標に達成する計画になる。今後は、どの地域に必要なのか戦略が必要である。 ・総合図書館運営審議会でも意見が出ているが、返却だけではなく、貸出も可能なサービスポイントを設置すべきである。 ・計画どおりに進捗していると判断する。 ・返却拠点の設置のみであり、貸出拠点の検討内容が明確になっておらず不十分である。今後の貸出拠点の設置に向けての検討に期待する。 ・南区南部エリアの調査は、ぜひ進めていただきたい。 図書館が市民にとって、より身近な存在となるよう、貸出・返却拠点については、いろいろな方法で検討を進めていただきたい。					A : 2 B : 1 C : 2 D : 0

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	利用時間の拡大		
内容	開館時間, 休館日の見直し				
平成26年度					
事業計画	休館日及び開館時間の見直しを行い, 図書館を利用できる時間を拡大することにより, 図書館利用者の利便性の向上を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	【休館日】 検討(段階的に実施) →				
	◇全館		◇東		
	【開館時間】 検討(段階的に実施) →				
		◇総合, 東			
取組状況	<p>図書館業務システムを更新してサーバや端末の処理速度を上げたことにより, 福岡市総合図書館条例施行規則(以下,「規則」という。)第7条4号に基づく図書資料等整理のための休館日(以下,「図書特別整理期間」という。)を, 平成26年度は総合図書館は6日(前年度8日), 各分館は7日(前年度9日)に短縮した。</p> <p>また, 開館時間拡大に向け, 運営体制のあり方について検討を行い, 指定管理者制度の導入について方針を決定し, 福岡市総合図書館条例(以下,「条例」という。)の一部改正を行った。</p>				
平成27年度					
事業計画	<p>平成28年度からの指定管理者制度移行のため, 外部委員からなる「福岡市総合図書館に係る指定管理者選定・評価委員会」を設置し, 総合図書館, 東図書館それぞれ公募を行い, 平成27年12月議会で指定管理者の指定を行うことができるよう必要な準備作業を進めていくとともに, 規則の一部改正を行う。</p> <p>指定管理者制度の導入による財源の再配分により, 移行後は総合図書館については開館時間の拡大, 東図書館については開館時間の拡大及び休館日の縮小による図書館サービスの充実を図る。</p> <p>なお, 市の図書館全体における休館日及び開館時間の見直しについては, 継続的に検討していく。</p>				
内部評価					
<p>開館時間, 休館日の見直しについては段階的に実施していくこととしており, 平成26年度においては図書特別整理期間の短縮のみであったが, 今後の開館時間の拡大に向けた準備として, 指定管理者制度の導入について方針決定し, 条例等の一部改正を行うなどの環境整備を整えた。</p>					A
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度の段階的実施に向けての法整備の期間であった。指定管理者制度導入により, 更なる図書館サービスの充実につながるよう, 慎重な対応を引き続きお願いしたい。 ・休館日の削減が進んでいるのは評価できる。開館時間は, 分館の地理的条件等を考慮して柔軟に対応していただきたい。 ・開館時間の拡大については, 準備段階であり, 実現性が見えていないため判断できない。運営体制のあり方の方向性を示すべきである。 ・開館時間の拡大, 休館日の縮小はぜひ検討を進めていただきたい課題であり, 今回の取組みは第一歩として評価される。しかし, 指定管理者制度の導入については疑問に思うところもある。 ・利用時間拡大についての環境整備は整っていると判断する。 					A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

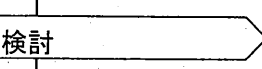
平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書館イベントの充実		
内容	図書館イベントの充実				
平成 26 年 度					
事業計画	成人を対象とした読書会等を実施し、読書の普及や図書館の活用促進を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		計画	大人向けイベントの実施		
取組状況	平成27年度から取組予定				
平成 27 年 度					
事業計画	市民の有志で開催している読書会を見学するなど、事例の研究を進め、その内容に基づき、成人を対象としたイベントの企画を立案し、平成28年度の本格実施に向けて分館等で試行する。				
内 部 評 価					
平成26年度は評価対象外					-
外 部 評 価					
平成26年度は評価対象外					-

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	快適な空間づくり		
内容	やすらぎと交流の場づくり				
平成 26 年 度					
事業計画	誰もが気軽に立ち寄り、思い思いの時間を過ごし、くつろぎ楽しむ、潤いややすらぎの場となるよう、エントランスホールや正面玄関前広場等を活用し、快適な空間づくりを行います。 また、広場等を活用したイベントを実施していきます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
取組状況	平成27年度から取組予定				
平成 27 年 度					
事業計画	エントランスホールや正面玄関前広場等を活用した快適な空間づくりのため、市民ニーズの把握を含めた民間コンサルタントによる調査を行い、それに基づいて検討を進めていく。 また、平成28年度からの総合図書館の建物管理業務については、指定管理制度へ移行することとしており、その公募において、やすらぎと交流の場づくりに寄与する企画提案を指定管理応募者に求めることとしている。				
内 部 評 価					
平成26年度は評価対象外					-
外 部 評 価					
平成26年度は評価対象外					-

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	快適な空間づくり		
内容	館内レイアウトの変更				
平成26年度					
事業計画	文学資料エリアのリニューアル、ビデオライブラリーの見直し及びカフェスペースの設置などを行い、図書館の魅力の拡大を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		検討 		◇文学資料エリア、ビデオライブラリー、カフェスペース	
取組状況	平成27年度から取組予定				
平成27年度					
事業計画	館内レイアウトの一部見直しのため、市民ニーズの把握を含めた民間コンサルタントによる調査を行い、それに基づいて検討を進めていく。				
内部評価					
平成26年度は評価対象外					—
外部評価					
平成26年度は評価対象外					—

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	資料収集の充実				
平成26年度					
事業計画	公共図書館としての役割を発揮するため、図書資料の収集方針の見直しを行い、計画的な資料収集に努めるとともに、電子書籍の取り扱いについて検討します。 分館においては、地域の実情にあわせて特色を持たせた資料収集を行っていきます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">収集方針改定</div>				
取組状況	<p>収集方針については、素案を作成し、内容の精査を進めた。</p> <p>電子書籍については、取り扱いの検討に先立ち、図書館関係雑誌に掲載された事例等の情報収集を行った。</p> <p>分館における資料収集については、地域の実情にあわせて特色を持たせるため、分館の蔵書構成に関するデータを分析した。</p>				
平成27年度					
事業計画	<p>図書館資料収集方針については、平成27年7月末を目途に内容を確定させる予定である。</p> <p>電子書籍については、他都市の状況調査などを基に、導入のメリットとデメリットを整理しながら検討を進める。</p> <p>分館における資料収集については、地域の実情にあわせて特色を持たせるための考え方を分館毎に整理し、資料収集に反映させる。</p>				
内 部 評 価					
<p>収集方針改定について、ほぼ計画どおりに進捗したが、館全体の方針整理までには至らなかったため、不十分であった。</p>					B
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・予算削減の見直しを根本的に考え直さないと解決にはほど遠いと言わざるを得ない。 ・館全体の方針整理の急務、方向性の同一化が必要である。 ・収集方針については進めているものの、検討段階であり、評価することは難しい。 ・電子書籍の取り扱いなどの情報収集については評価するが、館全体の方針整理がなされていないのは不安が残る。 ・収集方針については、ぜひ丁寧な検討をお願いしたい。 					A : 0 B : 3 C : 2 D : 0

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	レファレンス(相談)サービスの充実				
平成26年度					
事業計画	電子メールによるレファレンスサービスを実施し、利用者への図書館サービスの充実と利便性の向上を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討				
	システム対応	電子メールによるレファレンスサービス			
取組状況	電子メールによるレファレンスサービスについては、受付から回答までの業務の流れについて、関係各課で検討を行ったが、館全体の運用方針(事務要領)の策定までには至らなかった。 なお、図書館ホームページに追加するレファレンス受付用フォームの作成については完了している。				
平成27年度					
事業計画	関係各課の検討内容を整理し、受付から回答までの業務の流れについて、館全体の運用方針(事務要領)を定め、平成27年10月の実施を目指す。 また、レファレンス事例の活用についても、検討を進めていく。				
内部評価					
受付から回答までの業務の流れについては、関係各課での検討までに留まり、館全体の運用方針(事務要領)の策定までには至らなかった。					C
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・館全体の方向性の同一化が必要である。 ・電子メールによるレファレンスサービスについては、館全体での運用方針を早急に進め、予定の10月実施に遅れることないよう進めていただきたい。 ・電子メールによるレファレンスについては、検討段階であり、評価することは難しい。 ・電子メールによるレファレンスサービスは、今後、ますます必要とされることから、早急に方針を策定し、システム化を進めていただきたい。 ・国立国会図書館(レファレンス共同データベース)や福岡県立図書館(レファレンス検索ツール)とのリンクも情報提供の充実として考えるべきである。 					A : 0 B : 0 C : 5 D : 0

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	情報提供の充実				
平成26年度					
事業計画	ビジネス支援や子育て支援などの課題解決に対して、本市関係部局及び国・県等関係機関と連携を図りながら、図書館資料を活用した展示等の情報提供などを行っていきます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	計画	ビジネス支援等の情報提供			
取組状況	本市関係部局等との連携について検討し、図書館資料だけでなく、保健福祉局やふくふくプラザ、経済観光文化局に関する相談窓口や講座等の案内などの情報提供を合わせて行う平成27年度の企画展示を計画した。				
平成27年度					
事業計画	高齢者問題(介護, 認知症)や就労について、保健福祉局やふくふくプラザ、経済観光文化局等と連携し、関係する相談窓口や講座等の案内などの情報提供を合わせて行う企画展示を実施する。				
内部評価					
関係機関と連携した企画展示の計画について、ほぼ計画どおりに取り組んだ。					B
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の抱える問題を解決していく図書館サービスが全国的にも注目されていることから、いろいろな形での情報提供を探っていただきたい。 ・行政機関や他図書館等とのリンク集を設け、情報提供の充実を図ることが望ましい。 ・関係部局との連携のもと、平成27年度の企画展示に期待する。市民への企画展示(情報提供)の広報については、工夫が必要と思われる。 ・計画どおりに進捗していることは評価する。平成27年度の企画展示に期待する。 					A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	ホームページの複写サービス				
平成26年度					
事業計画	福岡市及び国等のホームページに掲載されたインターネット情報を利用者の調査研究に役立てるため、同資料を収集し、複写サービスを提供します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	試行	ホームページ等の複写サービス			
取組状況	平成26年度は総合図書館においてサービスを試行し、平成27年度からの実施に向け、サービスの運用方法の改善すべき点等を整理した。 ※対象 市ホームページ、市外郭団体ホームページ、国ホームページ、国連公文書システム 等				
平成27年度					
事業計画	平成27年4月1日より各分館も含め、試行を踏まえて改善を加えたサービスの提供を開始し、引き続きサービスを継続する。 ※平成27年4月1日より各分館においても提供を開始。				
内部評価					
平成26年度の試行を踏まえてサービスの運用方法を改善した上で、27年度より事業を開始できたため、計画どおりの進捗状況である。					A
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・予定どおり事業を開始できている。件数的には少ないが、様々な情報を求める市民ニーズにこたえる図書館サービスとしては評価できる。 ・平成27年度よりサービスを開始できることは、計画どおりであり評価できる。 ・国(省庁)における審議会の議事録等もホームページに公開されているので、同じ条件で複写できることが望ましい。 ・平成27年度より、各分館においても同サービスが開始できることは評価できる。 ・平成27年度よりサービスを開始できることは評価できる。 					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	無線LAN環境の整備				
平成26年度					
事業計画	<p>利用者の調査・研究の補助として、個人持ち込みの端末機器(ノートパソコン、タブレット、スマートフォン等)が利用できるよう、公衆無線LAN「Fukuoka City Wi-Fi」によるインターネット環境を整備し、利用者の利便性の向上を図ります。</p> <p>なお、分館については、施設管理者と検討を進めます。</p>				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討、協議				
	◇総合		◇分館 (1館)	◇分館 (3館)	◇分館 (3館)
取組状況	<p>総合図書館内の1階・2階の閲覧スペースやエントランスホール、学習室、飲食コーナー、3階の会議室において、個人持ち込みの端末機器でインターネットが利用できるように、平成26年4月2日から、福岡市が提供している無料公衆無線LAN サービス「Fukuoka City Wi-Fi」を導入した。</p> <p>※「Fukuoka City Wi-Fi」 氏名とメールアドレスを一度登録すると、サービスエリア内では6カ月間は自動的にインターネットへ接続ができるサービス(セキュリティ同意をしなければ1回あたりの接続時間は60分。ただし1日に何度でも利用可)。</p>				
平成27年度					
事業計画	<p>平成27年度になってから、総合図書館内のWi-Fi環境において、一部不安定な電波環境が見つかったことから、アクセスポイントの最適な配置について検討し、対応していくこととしている。</p> <p>また、分館の無線LAN環境整備については、平成28年度に東図書館が移転開館する香椎副都心公共施設内において、施設を所管する市民局とWi-Fi導入について協議を進めていく。</p>				
内 部 評 価					
<p>平成26年度の総合図書館における無料公衆無線LANサービス「Fukuoka City Wi-Fi」の利用件数は、一日あたりのアクセス回数は354回(年間102,007回)であり、利用者の利便性向上に効果があったと考える。</p>					A
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・無線LANサービスのアクセス数からみても効果があったと評価する。一層の安定した環境と分館への対応も引き続き進めていただきたい。 ・無線LANサービスは今後ますます求められるサービスの一つと考える。積極的に進めて充実を図っていただきたい。 ・平成26年度からサービスを提供できていることから評価できる。 ・計画どおりに進めていただきたい。 ・1日あたりのアクセス回数からは効果があったと判断する。更なる環境整備に期待する。 					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援			
内容	団体貸出先の拡大					
平成26年度						
事業計画	図書館利用が困難である施設入所者等への団体貸出を実施し、団体貸出サービスの充実を図ります。団体貸出先については、高齢者施設や病院などに広報活動を行い、貸出先を拡充。					
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	検討	団体貸出先の拡大				
取組状況	<p>平成25年度の団体登録数は344団体で、平成26年度の登録団体数は349団体となり、前年度より登録数は増加した。</p> <p>サービスについては、これまでは1週間のうち平日の火曜日から金曜日までを配本日とし、配送作業を行っていたが、学校図書館支援センターの事業開始に伴い平成27年度からは平日の月曜日から金曜日までを配本日とし、配本計画を立てることとした。</p>					
平成27年度						
事業計画	<p>配本計画を、平成26年度までの週4日(火～金曜日)から週5日(月～金曜日)に見直し、配本方法の効率化などに努め、見直しを図りながら新規団体の受入体制を整える。</p> <p>広報活動の一環として、「青い鳥だより」を発行し、新規団体の増加・貸出先の拡大を図る。</p>					
内部評価						
前年度より、登録団体数が5団体増え、団体貸出先の拡充はほぼ計画通りの進捗状況であると考える。今後、貸出先の拡大等、サービスの充実に努める。					B	
外部評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・貸出先の拡大や充実を更に努めていただきたい。 ・さらなる拡充を進めていただきたい。 ・団体貸出サービスについては、どのくらい市民に認知されているのか疑問がある。広報も含めて、サービスの充実を進めていただきたい。 ・団体数が5団体増えたことは評価できる。平成30年度の目標390団体に達するには、もう少しスピードを上げることが必要である。 ・登録団体数も増え、広報紙の発行も予定されたりと工夫がみられる。配本計画も見直して効率化に努めるとのことで、登録団体の増加が期待できる。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0	

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	公民館等の読書活動への支援				
平成26年度					
事業計画	地域において読書活動を行っている公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、図書コーナー(室)の運営や環境整備への助言や支援等を行います。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		協議	公民館等への支援		
取組状況	平成27年度から取組予定。				
平成27年度					
事業計画	公民館や留守家庭子ども会等と協議し、支援に関するニーズを把握する。				
内部評価					
平成26年度は評価対象外					-
外部評価					
平成26年度は評価対象外					-

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	市関連施設の図書室の相互協力		
内容	議会図書室との連携				
平成26年度					
事業計画	議会図書室と連携し、議会における政策、立案等の調査・研究を支援します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	協議	議会図書室との連携			
取組状況	議会事務局と協議を行い、総合図書館からの図書資料の貸出に関する取り決めに締結し、平成27年2月26日より図書資料の貸出事業を開始した。 貸出、返却方法に関しては巡回連絡便等の既存の配送・回収方法を活用したことにより、特段の予算措置は不要であった。				
平成27年度					
事業計画	平成26年度から引き続き議会図書室への図書資料の貸出による支援を継続実施する。 また、今後は更なる利用者の増加について、議会図書室と連携を深め周知を図っていく。				
内部評価					
平成26年度内に事業を開始できたことにより、計画的どおりに取り組んだ。					A
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・連携については今までどおり努めていただき、更なる利用増加へ繋がるよう議会への支援を行っていただきたい。 ・既にサービスを開始できていることから評価できる。 ・平成26年度からサービスを提供できていることから評価できる。 ・より充実した連携、支援を続けていただきたい。 ・立案に必要な条例データベース等へのリンクなども必要と考える。 					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	市関連施設の図書室の相互協力		
内容	市施設の図書室との相互協力				
平成26年度					
事業計画	少年科学文化会館及びふくふくプラザなどとの連携, 相互協力化を検討します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		検討, 協議			連携
取組状況	平成27年度から取組予定				
平成27年度					
事業計画	相互協力化については, 各施設のシステム統合が前提条件となることから, 引き続き協議を行う。 ※ふくふくプラザについては, 平成27年4月1日よりふくふくプラザ2階の福祉図書・情報室カウンター窓口にて返却受付開始した。また, 同年8月1日より, ふくふくプラザ1階入口付近に返却ポストを設置する予定である。				
内部評価					
平成26年度は評価対象外					-
外部評価					
平成26年度は評価対象外					-

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む 図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	モデル児童図書目録の配布				
平成26年度					
事業計画	子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安として、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	幼児用 作成	◇配布 小学生用 計画	初級(1・2年生) 検討, 協議	作成	◇配布 中級(3・4年生) 検討, 協議
取組状況	モデル児童図書目録(幼児用)を作成した。 中級(3・4年生用)は平成33年度, 上級(5・6年生)は平成36年度に配布予定				
平成27年度					
事業計画	平成26年度に作成したリスト(モデル児童図書目録)を4月に配布し、利用者のリスト活用を促していく。 ※平成27年4月に関係機関(総合図書館, 分館, 保育園, 公民館等)へ配布した。				

内部評価

モデル児童図書目録(幼児用)の作成を計画どおり行った。	A
-----------------------------	---

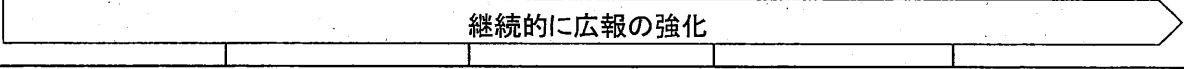
外部評価

<ul style="list-style-type: none"> ・作成及び配布が計画どおりに進んだことは評価できるが、配布後の活用などのフォローが必要ではないかと考える。 ・計画どおり進められており、今後の作成・配布にも期待する。子どもへの読書普及をより一層、積極的に努めていただきたい。 ・計画どおり作成できているので評価できる。今後は、目録がきちんと活用されているのか検証する必要がある。 ・作成、配布の計画は進捗していることから評価できる。中級及び上級の目録の作成が計画より早く進むことを望む。 ・計画どおりに進めていただきたい。 	A : 3 B : 2 C : 0 D : 0
--	----------------------------------

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む 図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	新一年生への貸出カードの付与				
平成26年度					
事業計画	新一年生のうち図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードを付与することにより、読書の普及等を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		検討, 協議	貸出カードの付与		
取組状況	平成27年度から取組予定				
平成27年度					
事業計画	素案の作成に着手し、教育委員会指導部と検討・協議しながら、平成28年度における実施に向けて作業を進める。				
内部評価					
平成26年度は評価対象外					-
外部評価					
平成26年度は評価対象外					-

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む 図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	ヤングアダルト層(12歳~18歳)への広報活動の強化				
平成26年度					
事業計画	総合図書館内にヤングアダルトコーナーを設置し、推薦図書展览展示等を実施するとともに、ヤングアダルト向けの推薦図書に関するリストを作成・配布することで、読書普及のための広報を実施します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
					
取組状況	<p>常設のヤングアダルトコーナーにおいて、推薦図書等を2カ月毎に変更して展示した。 また、教育委員会生涯学習課が主催する読書イベント等にて、推薦図書に関するリストを配布するなど、広報を実施した。</p>				
平成27年度					
事業計画	<p>ヤングアダルトコーナーの設置や推薦図書に関するリストの配布など従来の対応を継続することに加え、ヤングアダルト層に対する広報活動として強化できる企画を立案し、実施に向けて作業を進める。</p>				
内部評価					
<p>常設の展示等による対応以外に広報の強化が図られていないため、C評価とする。</p>					C
外部評価					
<p>・ヤングアダルト層への取組みは手薄に感じられる。学校との連携や、ヤングアダルト層自身の力や知恵を借りた取組みも必要である。 ・成人の読書活動に繋がっていく大切な取組みである。子どもたちと身近に接する人へのアプローチなど方法を探りながら進めていただきたい。 ・ヤングアダルト層のニーズについて、分析が必要である。広報は相互のコミュニケーションであると考える。 ・広報活動の改善が必要である。 ・ヤングアダルト層への広報には工夫が必要である。分館にはヤングアダルトコーナーが設置されているが、総合図書館における取組みは不十分と考える。</p>					<p>A : 0 B : 0 C : 5 D : 0</p>

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	読書活動ボランティア講座の強化				
平成 26 年 度					
事業計画	読書活動ボランティア講座を開催し、学校や地域等幅広いボランティアを養成して、地域の読書活動の推進に寄与します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	準備	初心者向け講座の実施			
	準備	経験者向け講座の実施			
取組状況	平成27年度の講座の準備を行うとともに、講座受講者が地域等でボランティア活動ができる機会について検討した。				
平成 27 年 度					
事業計画	初心者向け・経験者向け講座を実施する(初心者向けは5月から実施中。経験者向けは9月以降を予定)とともに、講座受講者に対し、地域の読書活動サークルを紹介する等、読書活動の場に関する情報提供を行う。				
内 部 評 価					
講座の準備は行ったが、活動機会の提供の具体化には至っていない。					C
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動ボランティアの活動の具体化が重要である。 ・今までの講座について、希望者が定員を上回ることが多いと聞いている。今後も充実した講座をお願いしたい。 ・読書活動ボランティアを養成し、図書館イベントの充実として、活動を計画して実行することが望ましい。 ・講座を実施するだけでなく、読書活動ボランティアサークル等とのパイプになり、実際の活動に繋がるよう養成を行っていただきたい。 ・準備段階であり、評価することは難しい。 					<p>A : 0</p> <p>B : 0</p> <p>C : 5</p> <p>D : 0</p>

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む 図書館	項目	学校図書館への支援		
内容	学校図書館支援センターの設置				
平成26年度					
事業計画	総合図書館内に学校図書館支援センターを設置し、学校図書館への人的・物的支援を行います。 ・学校図書館への運営等に関する指導、助言 ・学校図書館の図書への選書や助言 学校図書館支援センターについては、学校指導課と連携して、学校図書館を支援していきます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	準備	学校図書館への支援			
		図書の配送			
	ホームページ運用				
取組状況	平成26年9月26日に、福岡市総合図書館内に学校図書館支援センター準備室を設置し、当事業の平成27年度本格実施に向けて準備を行った。具体的な準備内容は、主に下記の3点である。 ①支援内容の検討と決定 ②支援用図書の選定・受入と配送方法の検討 ③ホームページの内容の検討と開設準備				
平成27年度					
事業計画	平成27年4月1日より本格実施を開始し、4月から、学校図書館についての相談業務と、要請があった学校へ赴きその学校の図書館の課題・改善策等を共に検討する要請訪問を実施する(4月から実施中)。5月からは、福岡市内の、司書が未配置の市立小・中学校へ定期的に訪問する計画訪問を実施する(5月から実施中)。また、9月から、調べ学習をはじめ児童・生徒が学習活動で活用するための図書の貸出を開始する予定である。 ホームページについては4月より開設、以降必要に応じてコンテンツを拡充していく(4月から開設中)。				
内部評価					
平成27年度本格実施に関し、計画通りの進捗状況であると考える。					A
外部評価					
・支援計画は具体化しており、本格実施へ計画どおりで進んでいることから評価できる。 ・学校司書未配置校では、図書室の充実や取り組みなど多くの悩みを抱えていることから、今後の学校図書館支援センターの働きに期待している。 ・計画どおり進められているが、学校司書未配置校への人的支援の成果があげられるよう、より深い支援をお願いしたい。 ・計画どおりに進めていただきたい。 ・実施段階に入っており、評価できる。					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の強化		
内容	図書館外施設でのアジア映画上映事業				
平成 26 年 度					
事業計画	総合図書館が収蔵するアジア映画の作品を、図書館以外の市の施設で上映し、フィルムの有効化を図るとともに、映像文化の普及・振興・市民サービスの促進を行います。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
取組状況	平成27年度に博多市民センターで図書館が収蔵するアジア映画の上映会の開催にむけて、博多区役所の生涯学習推進課と事業内容の説明や開催時期等の協議を行った。				
平成 27 年 度					
事業計画	上映作品は、なるべく最近収蔵した作品と考え、昨年の福岡観客賞を受賞した「ジャングル・スクール」(インドネシア)で著作権処理の話がまとまり、現在はポスター・チラシ・チケット等の話を進めている。				
	事業の名称:「こんにちは シネラです。」 開催日時 :平成27年10月12日(月・祝) 1回目11時～、 2回目14時～ 会 場 :博多市民センター(ホール) 入 場 料 :有料(大人:500円, 大学生・高校生:400円, 中学生・小学生:300円) ※総合図書館映像ホール・シネラでも同額で上映				
内 部 評 価					
平成26年度は、総合図書館(映像ホール・シネラ)から距離が離れている博多区での開催を計画し、博多区生涯学習推進課と協議を行うとともに、博多市民センターの現地調査等を行った。					A
外 部 評 価					
<ul style="list-style-type: none"> ・上映会の準備が整ったとのことだが、映像文化の普及や市民サービスの観点からも、開催回数や上映作品を増やすなども期待したい。 ・上映会の準備が計画どおりに進捗していることは評価できる。 ・実施段階に入っており、評価できる。 ・少しずつ上映機会と場所を増やしていただきたい。大学の学園祭などとのコラボレーションの可能性も探っていただきたい。 ・今後も市内のいろいろな場所での上映を進めていただきたい。 					A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の強化		
内容	広報活動の強化				
平成26年度					
事業計画	総合図書館が収蔵するアジア映画等のポスターを、1階ショーケース等において展示し、映像文化の普及・振興・市民サービスの促進を行います。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	ポスターの展示				
取組状況	<p>○平成26年6月11日～28日まで開催した「インド映画パラダイス」で、上映する「スタンリーのお弁当箱」など8作品の映画ポスターを6月の開催期間中に1階ショーケースを利用して展示を行った。</p> <p>○平成26年9月12日～21日まで開催された「アジアフォーカス・福岡国際映画祭2014」で、上映作品の映画ポスターを1階ショーケースを利用して、8月25日～9月29日までの間展示を行った。</p> <p>○昨年の11月に亡くなられた映画俳優・高倉健さんの追悼映画上映会(12月28日開催)にあわせ、シネラのロビーを利用して、収蔵している高倉健さんの映画ポスターの展示を行った。</p>				
	平成27年度				
事業計画	<p>○平成27年7月15日～8月2日まで開催する「トルコ映画特集」で、上映する9作品の映画ポスターを1階ショーケースを利用して7月1日～30日まで展示を行う。</p> <p>○平成27年9月18日～25日まで開催される「アジアフォーカス・福岡国際映画祭2015」で、上映作品の映画ポスターを1階ショーケースを利用して、8月24日～9月30日までの間展示を行う。</p> <p>○昨年の11月に亡くなられた映画俳優・高倉健さんの映画上映会(11月開催)にあわせ、1階ショーケースやシネラロビーを利用して、収蔵している高倉健さんの映画ポスター等の展示を行う。</p> <p>※シネラで上映している映画のチラシやパンフレットを展示している。また、5月の「小津安二郎監督特集」では、ビデオライブラリーに収蔵している中から小津安二郎監督の本3冊をシネラロビーに展示し、入場者の方に見てもらった。</p>				
	内部評価				
「インド映画パラダイス」や「アジアフォーカス・福岡国際映画祭2015」での上映作品のポスターや解説を展示することにより、今までアジア映画や映像ホール・シネラに入場されたことのない、新たな観覧者を開拓することができたと思われる。					A
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動により、観覧者の新規開拓に繋がったと思うが、もう一步深い取組みとなるよう、企画展示の広報活動にも取り組んでいただきたい。 ・新たな観覧者の開拓に繋がっていったことは評価できる。今後は更に工夫して、広報活動の強化を続けていただきたい。 ・アジア美術館や市役所等での公開も検討していただきたい。 ・広報活動の強化が認められる。 					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の強化		
内容	歴史的公文書のデジタルデータ化及びシステム化				
平成26年度					
事業計画	<p>総合図書館ホームページを活用し、インターネットによる情報提供の充実を図ります。また、保存期間満了の福岡市作成の公文書のうち、歴史的公文書として残す資料の選び出しや関係課との移管協議文書作成など、収集に係る事務手続き及び検索について、システム化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的公文書目録検索 ・現在マイクロフィルム撮影にて複製保存している歴史的公文書の一部デジタルデータ化 ・公開できる歴史的公文書をデジタルデータにて公開 ・歴史的公文書管理システムの構築 ・公文書検索のシステム化 				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	データ化	デジタルデータ化検討		デジタルデータ化	
	目録掲載			公開	
システム化	協議		システム検討		運用
業務分析					
取組状況	<p>○公文書管理に関わる3課(総務企画局総務課、情報公開室、当館)で、年間約7万冊作成される福岡市の公文書から歴史的価値ある公文書の収集体制づくりや文書管理システムの活用について協議を行った。</p> <p>○当館ホームページに、閲覧対象公文書目録(約3千冊)をPDFファイルにて掲載するとともに、全国の主な公文書館等100館へデータDVD目録として送付した。</p> <p>○将来のホームページデジタルアーカイブ素材としての利用を図る目的から、公文書展示の際、パソコンで展示内容が見れるようにした。</p>				
平成27年度					
事業計画	<p>○デジタルデータ化を行うにあたっての技術的な課題や他都市の公文書館の動向について情報収集を行う。</p> <p>○関係課とデジタルデータ化を含めた公文書管理のあり方について、引き続き協議を行う。</p> <p>○当館ホームページに、平成27年度公文書目録をPDFファイルにて掲載するとともに、全国の主な公文書館等100館へデータDVD目録として送付する。</p> <p>○歴史的公文書展示に際し、パソコン、デジタルフォトフレームを使い、展示内容の紹介を行う。また、そのデータは、デジタルアーカイブ素材として保存していく。</p> <p>○公文書収集に係る事務手続作業の業務分析を行い、作業効率化のためのシステム化を検討する。</p>				
内部評価					
<p>○インターネットで公文書を探すことが可能になり、簡易な検索を行うことができるようになった。</p> <p>○関係3課にて電子データ(電子決裁文書等)の移管等の協議を行い、今後の方向性を検討した。</p> <p>○従前の紙ベースの展示に加え、一部パソコンによる展示を行い、わかりやすく紹介するとともに、デジタルアーカイブ素材の作成ができた。</p> <p>○上記各項目について、取り組み初年度であり、本格的な検索ができない等の課題もある。</p>					B
外部評価					
<p>・歴史的公文書のシステム化は、保存、展示の面からも大変有効であり、今後も進めていただきたい。本格的な検索ができるよう、また使いやすいシステム化を期待する。</p> <p>・日々進化しているデジタルデータ化のツールについては、絶えず情報収集が必要であり、取組みの強化が必要である。</p> <p>・公文書資料のデジタルデータ化は、今後もぜひ進めていただきたい。誰でも検索しやすいシステム化をお願いしたい。</p> <p>・総合図書館ホームページで、歴史的公文書を検索ができるデータベースができれば、DVD送付は不要となると考える。</p>					<p>A : 0</p> <p>B : 4</p> <p>C : 1</p> <p>D : 0</p>

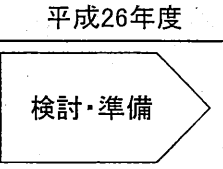
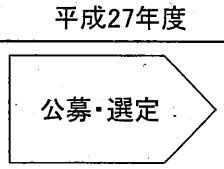
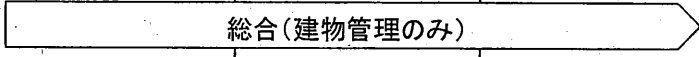
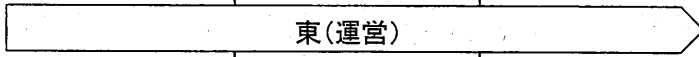
平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の強化		
内容	古文書資料・郷土資料のデジタルデータ化				
平成26年度					
事業計画	福岡の歴史に係わる古文書資料や郷土資料等のデジタルデータを作成し、情報提供の充実を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討, 準備		試験撮影		
取組状況	<p>○平成26年度に収集した古文書資料2,313点を、1点ごとに整理・マイクロ撮影し、『古文書資料目録20』に掲載した(平成26年度までに目録に掲載し、マイクロフィルムで閲覧に供した資料総数67,262点)。</p> <p>○一部の資料を試験的にデジタルカメラで撮影し、デジタルデータを集積した(約200コマ)。</p> <p>○デジタル撮影済みの一部の資料データを試験的にカラー出力し、業務で使用したが、画質・色調整済データであったにもかかわらず、出力に使用したプリンター及び出力紙の色味等との関係が原因ではないかと思われるが、長時間の利用時に目の痛み等が感じられたため、利用者提供は行わなかった。</p> <p>○『古文書資料目録』(1~20)はすべて紙媒体であるため、検索が難しく、利便性が高いとは言い難い。HP上で目録(A4判)約4,900ページをPDFで掲載する準備をすることは可能であるが、その場合、HPの容量が不足する上、利用者から国立国会図書館デジタルライブラリーと同様の画像公開の要望が寄せられることが想定され、HPの大幅な増量が必要である。</p>				
平成27年度					
事業計画	<p>○平成27年度に収集する古文書資料約2,000点を、1点ごとに整理・マイクロ撮影し、『古文書資料目録21』に掲載する事業と並行して、色刷りのものなど、カラー撮影が望ましい資料を選んで、試験的にデジタルカメラで撮影し、デジタルデータ(JPEG形式)を作成する。</p> <p>○カラー出力時の課題が発生しており、他館でのデジタルデータの公開状況の出張調査を行い、実見および聞き取り等により、原因と改善策を検討する。</p> <p>○デジタルライブラリー等に関する研修・講演会等に参加し、必要な基礎知識の蓄積・充実に努める。</p> <p>○目録およびデジタル化した資料データを、HP上で公開するための準備を行うとともに、引き続き、公開に必要なHP容量確保のための協議を進める。</p>				
内部評価					
<p>○古文書資料の収集・整理・保管・公開およびデジタルデータの蓄積等は、ほぼ計画通りに進んだが、一部想定していなかった事態が生じたため、利用者提供はしなかった。</p> <p>○デジタル撮影済みの一部の資料データを試験的にカラー出力したが、利用時に目の痛み等が感じられたものがあった。画質・色調整済データであったが、出力に使用したプリンター及び出力紙の色味等との関係で生じたものと考えられ、データの利用環境について研究の必要性を認識した。また、他館でのデジタルデータの利用状況等の調査も必要である。</p>					B
外部評価					
<p>・古文書資料・郷土資料のデジタルデータ化を進めたものの、出力した際に不具合があったとのことだが、原因追及や他館の情報収集を行い、利用者提供できるよう進めていただきたい。</p> <p>・歴史的公文書のデジタルデータ化及びシステム化と同様に、更なる研究、調査を期待する。</p> <p>・データの集積が進んでいることは評価できるが、「目の痛み等」の原因を早急に調査する必要がある。</p> <p>・古文書資料・郷土資料のデジタルデータ化がほぼ計画どおりに進んだことは評価したい。他館と情報交換しながら速やかに進めていただきたい。</p> <p>・古文書の読解力養成に関する講座の実施が、現在の人的資源では不可能であるならば、大学で開講されている科目を紹介するなどの検討もしていただきたい。</p>					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の強化	
内容	福岡市文学館の利用拡大			
平成26年度				
事業計画	市民に認知され、利用しやすい文学館となるよう、福岡市文学館サテライトである赤煉瓦文化館との連携を図りながら、事業充実及び広報強化により、文学館全体の利用拡大を図ります。			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	企画展の開催			
	広報強化			
取組状況	<p>○文学館事業が総合図書館と赤煉瓦文化館で実施している事業であることをアピールするため、赤煉瓦文化館の文学館内に総合図書館へのアクセス方法を明記したパネルを設置。</p> <p>○文学館事業として、以下の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「運動族 花田清輝 骨を斬らせて肉を斬る」 H26.11.6(木)～12.14(日)、入場者数3,847人 第1会場 総合図書館ギャラリー、第2会場 赤煉瓦文化館、図録販売数370冊(当該年度以外の図録販売数も含む) ・復刊本制作 福岡市文学館選書2「中野秀人作品集」販売数237冊(選書1の販売冊数も含む) ・企画展関連講座 読書講座(赤煉瓦文化館)3回 トークイベント(総合図書館)1回 参加者数101人 ・赤煉瓦夜話(赤煉瓦文化館)5回 参加者数232人 ・公開講座(筑紫女学園大学との共催事業:赤煉瓦文化館) 参加者数181人 			
事業計画	<p>○文学館事業が総合図書館と赤煉瓦文化館を使って実施している事業であることの周知を図るため、総合図書館HPでの文学館紹介ページに工夫を加え、わかりやすく変更する。</p> <p>○文学館事業として以下の事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展 11月～12月 テーマ「現代詩」 第一会場総合図書館ギャラリー、第二会場赤煉瓦文化館 ・赤煉瓦夜話、読書講座等の文学講座、企画展関連講演会 ・共催事業 「NHK平和アーカイブス展」(NHK広島放送局との共催:総合図書館ギャラリー) 市民公開講座「モダンの文学、モダンなアジア」(科学研究費補助金研究代表者との共催:赤煉瓦文化館) 			
内部評価				
○前年度と比較すると企画展入場者数、講座等の参加者数文学講座の参加者数ともに減少しているが、図録販売数は1.3倍となっている。			B	
外部評価				
<ul style="list-style-type: none"> ・市民により認知されることは必要であるが、参加の意欲に繋がる企画展、講座内容の充実も必要である。 ・参加者の減少については、企画内容など工夫を重ねていただきたい。良い内容の取組みを続けることで、読書普及に繋がっていくことを願う。 ・広報の仕方を工夫し、公民館、大学等の他機関との連携も考えていただきたい。 ・企画展入場者の減少については、原因を追究する必要がある。 <p>総合図書館ホームページで、より文学館の位置づけを明確にし、利用拡大を図ってはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展参加者数の減少については、原因を調べ、対策を考える必要がある。 			A : 0 B : 5 C : 0 D : 0	

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	運営方法(民間活力の導入)の検討				
平成26年度					
事業計画	図書館サービスの向上を図るため、指定管理者制度などの民間活力の導入を含めた運営方法について検討します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
					
					
取組状況	<p>財源の再配分による図書館サービスの充実を図るため、民間活力の導入を含めた運営方法について検討し、総合図書館においては建物管理等に関する業務について、東図書館においては図書の選定を除く図書館サービス業務について指定管理者制度を導入する方針を決め、福岡市総合図書館条例(以下、「条例」という。)の一部改正を行った。</p>				
平成27年度					
事業計画	<p>平成28年度からの指定管理者制度移行のため、外部委員からなる「福岡市総合図書館に係る指定管理者選定・評価委員会」を設置し、総合図書館、東図書館それぞれ公募を行い、平成27年12月議会で指定管理者の指定を行うことができるよう、必要な準備作業を進めていくとともに、福岡市総合図書館条例施行規則の一部改正を行う。</p> <p>また、指定管理者へ移行する業務が滞りなく遂行できるよう、確実な引き継ぎ等を行っていく。</p>				
内部評価					
<p>平成26年度は指定管理者制度の導入の方針を決め、条例の一部改正を行い、指定管理者制度の導入における環境整備は整ったが、導入の検討過程においてスケジュール遅れがあった。</p>					B
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者制度の導入については環境整備が整ったようだが、利用者へのデメリットが発生しないように、図書館サービスの向上に向けて慎重に進めていただきたい。 ・指定管理者制度の導入準備は進んでいるが、公募時期などの具体的なスケジュールが見えない。 ・指定管理者への移行がスムーズに遂行できるよう期待する。 ・指定管理者を適切に運用する方法を確認していただきたい。 ・指定管理者制度については、全国的にも未だに評価が分かれている。しっかり検討しながら取り組んでいただきたい。 					<p>A : 0</p> <p>B : 5</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	図書館ボランティアとの共働の推進				
平成26年度					
事業計画	図書館サービスの充実と市民活動の場の提供を図るため、図書館ボランティアとの共働を推進します。 ・図書館ボランティアの養成 ・学生のインターンシップの導入				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
取組状況	<p>図書館ボランティアの活動内容の見直しについて検討を行い、平成27年度においては一部業務の廃止(活動範囲の縮小)に至った。</p> <p>図書館ボランティアの養成として、本の修理に関する研修への呼びかけを行い、3名の参加により、技術習得を図ることができた。</p> <p>なお、学生のインターンシップの導入検討については、着手できなかった。</p>				
平成27年度					
事業計画	<p>図書館ボランティアの組織づくりや活動範囲の拡大等について検討していく。</p> <p>また、ボランティア登録時の説明会において、新規ボランティアと継続ボランティア間の連携が図れるような環境づくりも進めていく。</p> <p>インターンシップ制度の導入については、各部門において検討し、提携する大学等と協議を進めていく。</p>				
内部評価					
<p>平成26年度はボランティアの活動内容の見直しにおいては、活動の場を拡大することはできなかった。</p> <p>また、ボランティアの養成においても、研修への参加は少数であり、十分な育成には結びつかなかった。</p> <p>学生のインターンシップについては、未着手となっている。</p>					C
外部評価					
<p>・図書館ボランティアとの共働の推進は、図書館サービス及び市民ニーズに応える点からも必至である。</p> <p>平成27年度は遅れを取り戻す取組みが必要である。</p> <p>・よりよい読書環境づくりに携わる市民が増えることは図書館にとっても、市にとっても宝物である。今後の取組みに期待する。</p> <p>・図書館ボランティア、学生のインターンシップ等との共働体制の充実を期待する。</p> <p>・図書館運営にあたって、図書館ボランティアや学生のインターンシップ導入についての対応策が不十分である。</p>					A : 0 B : 0 C : 5 D : 0

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	職員の育成及び技術向上				
平成26年度					
事業計画	利用者が心地よいと感じる図書館となるよう、図書館職員の接遇研修等を強化します。併せて、図書館職員として専門知識や技術の向上を目指し、各種研修を実施していくことで、図書館サービスの向上と充実を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討	研修等の強化			
取組状況	嘱託員、臨時職員を含むすべての図書館職員に対する研修については、平成27年度からの強化を目指し、全体研修計画(接遇やビジネスマナー、リスクマネジメント、防災等についての研修)の作成を行った。専門研修については、区役所と各分館との連携強化を図るため、区の特徴や課題等に関する区役所職員による出前研修等を新たに計画した。				
平成27年度					
事業計画	全体研修については、職員全員が参加できるよう月末休館日を利用して、接遇やビジネスマナー、リスクマネジメント、防災等についての研修を実施し、職員の育成を図っていく。専門研修については、総合図書館各部門ごとに、専門知識や技術向上を目指した研修を実施する。また、著作権法に関する研修も取り入れることとしている。				
内部評価					
平成27年度からの研修等の強化に向けての取組検討は、ほぼ計画どおりに行った。なお、専門研修においては、著作権法に関する研修等も強化させていく必要がある。					B
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・主題専門知識の習得が計画されていない。司書職の専門職制度を確立すべきであり、その上で研修の計画をしていただきたい。 ・一人一人の職員の更なる知識、技術向上の努力を期待する。 ・検討段階であり、評価することは難しい。 ・職員の育成及び技術向上は利用者から求められる図書館サービスの一つであり、引き続き質の向上に向けて、計画に沿って取組んでいただきたい。 ・専門的な知識とスキルを積んだ司書は、図書館運営に大切な存在であることから、充実した専門研修を続けていただきたい。 					A : 0 B : 2 C : 3 D : 0

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	施設の有効活用などによる財源確保				
平成26年度					
事業計画	駐車場の有料化など、既存施設の有効活用を図ることで、財源確保につながる取り組みを進めます。 また、広告収入やスポンサー制度、寄付などによる財源の確保に努めます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
取組状況	駐車場の運営について、プロポーザル方式による使用者の公募を行って事業者を決定し、平成26年11月1日から図書館利用以外の一般利用に対しては有料とするとともに、年中無休として閉館後や休館日にも利用できることとした。(平成26年度収入 1,800千円) また図書資料の購入について、寄贈だけでなく寄付金も受け入れられるよう、ふるさと納税制度活用に向けての検討準備を行った。				
平成27年度					
事業計画	平成27年度も、駐車場の有料化に伴う財源確保を継続していくとともに、「ふくおか応援寄付」(ふるさと納税制度)による寄付金制度を開始する。(平成27年4月1日より開始) また、現在行っている広報紙等の印刷物やホームページの広告収入の拡充を図るとともに、雑誌スポンサー制度について、他都市の状況調査などを基に、導入のメリットとデメリットを整理しながら検討を進める。				
内部評価					
駐車場の有料化については計画どおりに取り組み、土地の基本使用料として月額30万円を歳入として確保することができた。 また、ふるさと納税制度を活用した福岡市の制度「ふくおか応援寄付」に図書館事業も加わることとし、平成27年度当初から受け入れができるよう、準備を行った。					A
外部評価					
・施設の有効活用などの財源確保は図書館サービスの向上に繋がっていくことから、引き続き一層の財源確保に向けて取組んでいただきたい。 ・予定どおり進めていただきたい。 ・様々な財源確保の取組みとその広報の工夫を期待する。 ・駐車場における資金確保は具体化しており、計画どおりであることから評価できる。 ・財源の確保に取組んでいることから評価できる。					A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

平成26年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調査(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	情報発信の推進				
平成26年度					
事業計画	子どもから高齢者まで分かりやすく、使いやすいホームページを目指し、充実を図ります。 また、積極的な情報発信としてRSS機能の追加やメールマガジンの配信等を実施し、図書館から積極的な情報発信を行い、図書館利用が少ない層への利用促進を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
取組状況	ホームページの充実に向けて、平成26年9月に準備室を立ち上げ平成27年4月から本格稼働する福岡市学校図書館支援センターについての情報や、ホームページの更新情報を簡略的に配信するRSS機能、駐車場の空車満車の情報をリアルタイムで確認できる機能等の追加を行うとともに、各部門の案内や分館情報等を見やすく使いやすいホームページへと改善を行った。				
平成27年度					
事業計画	学校図書館支援センター等の情報の充実を図るとともに、見やすく使いやすいホームページを目指す。 また、シネラ上映案内、おはなし会・講演会などの図書館事業を告知するメールマガジンを配信していくための、メールマガジン登録機能の追加を行う。				
内部評価					
平成26年度のホームページの改修については、ほぼ計画どおりに取り組んだものの、作業スケジュールに若干の遅れが生じた。 今後も、ホームページについては、利用者の声も参考にしながら、より使いやすいものを目指して、改善を継続していく必要があると考える。					B
外部評価					
<ul style="list-style-type: none"> ・積極的な情報発信は必要であり、駐車場の空き状況は評価できる。どのくらいホームページが見られているのか、訪問者カウンターの表示などをしてみてはいかがか。 ・総合図書館ホームページのリンク集を充実させることが必要である。 更に、リンク先の解説を付けることで、利用者の利便性が向上される。 ・使いやすいホームページ、メールマガジンの配信は積極的に進めていただきたい。 ・総合図書館ホームページの情報量は減少させることなく、表題部分の簡素化などの工夫が必要である。 更なる研究を期待する。					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0